

映画で学ぶ 環境問題

Erin Brockovich

(原題: Erin Brockovich)



監督: スティーヴン・ソダーバーグ
 脚本: スザンナ・グラント
 製作: ダニー・デヴィート
 マイケル・シャンバーグ
 出演: ジュリア・ロバーツ
 共演: アルバート・フィニー
 アーロン・エッカート
 公開: 2000年5月27日
 上映時間 131分
 配給: ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント

「この映画もジュリアの出世作「ブリティ・ウーマン」と同じく、どちらかという底辺にいるような女性のサクセスストーリーを描いており、見るだけでも勇気がわき出るものな上「エンターテインメント性」を重視し、「悪の枢軸たる大手企業」vs「善なる市民の戦い」という構図で描かれています。

では、現実はどうだったのでしょうか？
 大手企業は、元から悪魔的存在だったのでしょうか？

「建設現場で使われている様々な資材が、限りなく無害に近いものであってほしい。」という願う大日化成では、この名作を多くの方に見て頂きたいと思えます。

事実を解明します。それは、巨大エネルギー会社PG&E社(実在の会社)の6個クロム汚染被害(周辺の周辺地域の住民が、ガンや白血病で苦しんでいるという恐ろしい現実でした。当初は、町の小さな弁護士事務所が巨大エネルギー企業を相手に、どうして勝ち目はないと思われたのですが、エリンの熱意が周囲を巻き込み、やがて史上最高とも言われた和解金(当時の金額で約3億3300万ドル)を勝ち取ります。

この映画もジュリアの出世作「ブリティ・ウーマン」と同じく、どちらかという底辺にいるような女性のサクセスストーリーを描いており、見るだけでも勇気がわき出るものな上「エンターテインメント性」を重視し、「悪の枢軸たる大手企業」vs「善なる市民の戦い」という構図で描かれています。

では、現実はどうだったのでしょうか？
 大手企業は、元から悪魔的存在だったのでしょうか？

本作の汚染源たる「6個クロム」や「アスベスト」にしても、また、昨今の原発(放射能)問題にしても、使用する企業は別に、地域市民を困らせてやろうなどと考えていなかったことでしょう。むしろ化学の進歩により、効率性の高い資材を使い、より利便性の高いサービスを提供するつもりだったのでしょうか？

しかし気がついた時点では、人体や地域に対する汚染が既に拡大しており、認めにはあまりにも問題が大きくなりすぎたため、あえて無視せざるをえなくなつたのではないのかも、しれません。

そして結果的に、企業もそこで働く人間・関係者(担当弁護士なども)も「自己防衛の本能」が大きく働いたことで、ひいては「過剰防衛」になり、多くの一般市民を被害者にしてしまったのでしょうか。

だからといって、死や重病に至るほどの被害を決して許して良いことにはなりません。私達人間一人がいつ、加害者になるか、わからない怖さをはらんでいることを、この映画は教えてくれているような気がしています。

そういう視点で見ると、この映画は決して私達に無関係な話では、ありません。

「建設現場で使われている様々な資材が、限りなく無害に近いものであってほしい。」という願う大日化成では、この名作を多くの方に見て頂きたいと思えます。

余談ですが本物のエリンが、ウエイトレス役でチラッと出演しているんですよ。

地球環境を考えるコラム

自民党の圧倒的勝利で終わった昨年末の政権交代劇。

日本のエネルギー政策も、今後数十年を経てみれば、今日の政権がみられる大きな変化がみられることであろう。特に原発は、活断層や最終処分場の問題など、解決できない問題が山積のため、今後は間違いなく新しいエネルギーへの投資や研究が活発となるでしょう。

ここ数年でも、各地の温泉地などが地域活性化として取り組んでいる地熱発電や、竹島を含む日本海周辺に大量の埋蔵が見込まれる「メタンハイドレート」、石油を作る藻類として注目の「オーランチオキトリウム」など、話題にことかまません。

小型の照明装置でも、太陽光を蓄電して楽しむものが多く開発されており、昨年のクリスマイルミネーションのタイプも、非常によく売れたそうです。

こういったソーラライトは、電柱や電線などのインフラを必要としないため、広大なアフリカ大陸やネパールなどの山間部でも使いやすいということ、先進国からの新たな寄付品として、重宝されています。(写真左)



大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

日頃は営業活動やお電話で対応させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

大日化成岡山工場技術部に在籍しております大光智史と申します。2012年2月27日に入社致しました。

まだ、入社して一年も経過していないのですが先輩社員の皆様にも暖かく迎えて頂き会社の雰囲気にも慣れました。

業務内容ですが主に製品検査、先輩部員の実験補助を行っています。製品検査では製造に配合された製品を当社製品検査規格に準じて検査します。ただ行うのではありません。「どうしてこのような規格があるのか」常に考えながらやるように心がけています。

先輩部員の実験補助では依頼試験や製品の改善、テーマの実験を手伝っております。闇雲に指示された実験をするのではなく、目的をしっかりと把握して、更に理解を深めようと努めています。まだまだわからないことが多々ありますが、一日でも早く一人前になれるように日々の業務をこなしてまいります。

ここで少しだけ私の趣味についてお話させていただきます。私はパワーストーンやハーベルをもち上げる競技で至ってシンプルなのですが奥が深いです。練習は重いバーベルをただ上げるだけでなく、フォームや呼吸法、バーベルの軌道を考慮していかに軽く上げるかがポイントです。また、基礎体力作りも必要で補助種目を取り入れて反復運動を繰り返しています。

私は、競技を通じて感じたことが二つあります。「継続は力なり」と「Never Give Up」です。

トレーニングをすることで少しずつではありますが力がつくと同時に喜びを感じます。しかし、停滞時期が必ずあります。このような時期を境に何度か諦めようと感じますが、諦めずに継続することでまた少しずつ力がつきます。仕事に関しても同じ事だと思います。順調な時は実験も楽しく、勢いづきますが、良好な結果ばかりでなく必ずや壁にぶち当たります。

その時点で諦めたら終わりですが、競技で培った「決して諦めずに続けていくのだ」という強い意志「さえあれば必ず道は開けるのではないかと思います。最後になりましたが、常に新しいことにチャレンジすることのできる技術部ですからよろしくお願いたします。



技術部 大光 智史

DAINICHI CHEMICAL CO.,LTD.

●本社
 〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
 TEL: 06-6909-6755(代) / FAX: 06-6909-6702

●東京支店
 〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-5
 TEL: 03-3436-3801(代) / FAX: 03-3436-3803

次号も お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>